



消費者の会がタオルキャップを寄贈  
(能代市落合の山本組合総合病院で)

能代市消費者の会(塚本恵美子会長)の会員は

24日、同市落合の山本組合総合病院(近田龍一郎院長)を訪れ、心を込めて作ったタオルキャップを寄贈した。

タオルキャップは、抗がん剤治療を受けている患者を支援しようと、昨年から会員や一般向けに講習会を開いて製作に取り組み、今年5月に初めて同院に寄贈。鉢周りが56センチで明るい色のものや、柄が一つ一つ違うものに仕上がっており、患者から好評だったことから、今回はタオルキャッ

プのほか、手拭いの布地を使用して作ったもの

## タオルキャップ寄贈

# がん患者の支えに

山本組合 会員、心込めて作る  
総合病院に

## 市消費者の会

も含めた17個を寄贈した。

塚本会長が「患者さんに渡してあげてください」と手渡すと、外来化学療法室担当の看護師・野呂江津子さんは「誰かに応援してもらえることが、患者さんへの励みになる。市民の皆さんからの善意を早速手渡しします」と感謝していた。

同会では、今後も要望があれば福祉施設や個人向けにも作りたいと話しているほか、フェイスタオルの寄付も受け付けている。

寄付などの問い合わせは塚本さん(☎54・2661)まで。